

## 令和4年度（前半）

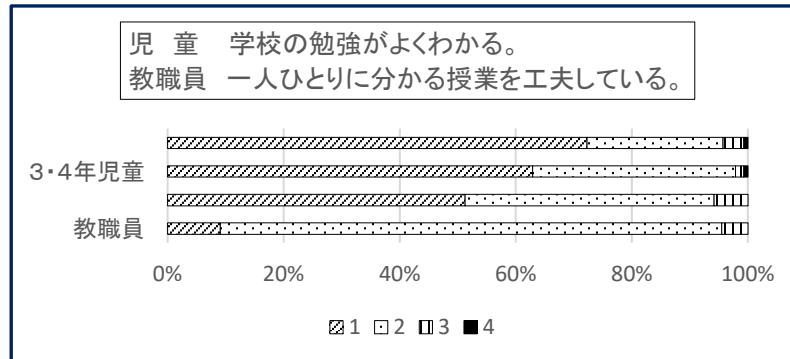
### 【学校評価アンケート結果について】

7月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果を、お知らせいたします。「1・2年児童」「3・4年児童」「5・6年児童」「保護者」「教職員」の結果をグラフで表しています。

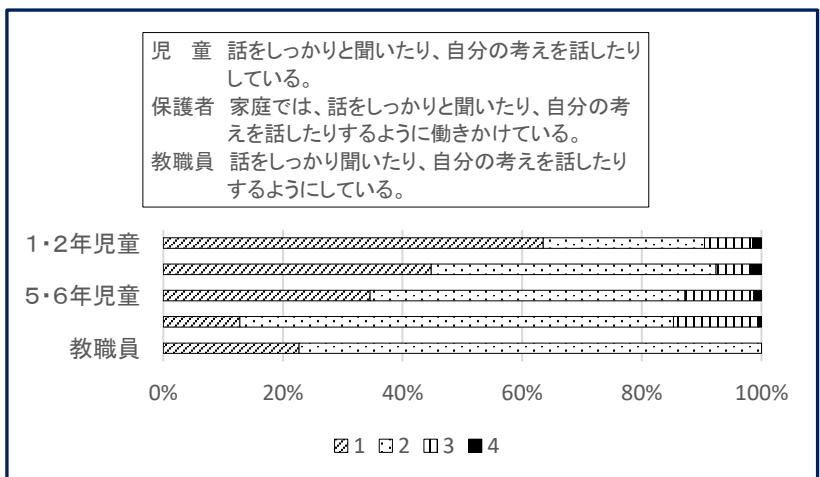
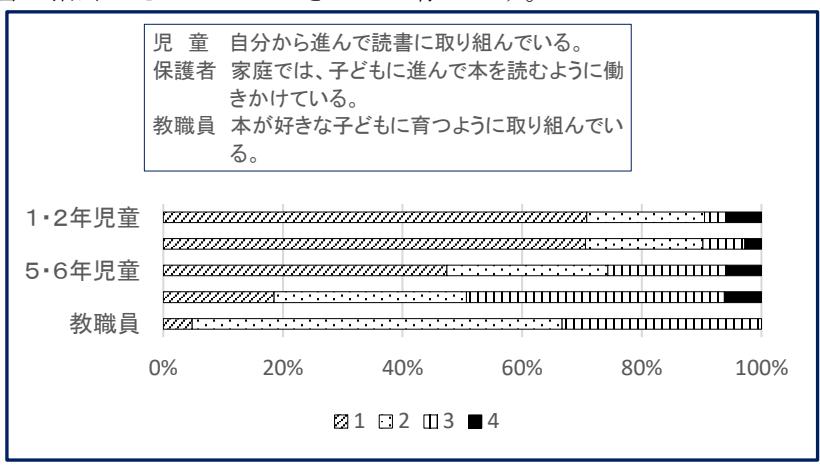
三者のアンケート結果から考察したことをお伝えし、今後の改善の指針とさせていただきたいと存じます。

ご協力ありがとうございました。

#### ＜進んで学習する子＞



1 2 3 4

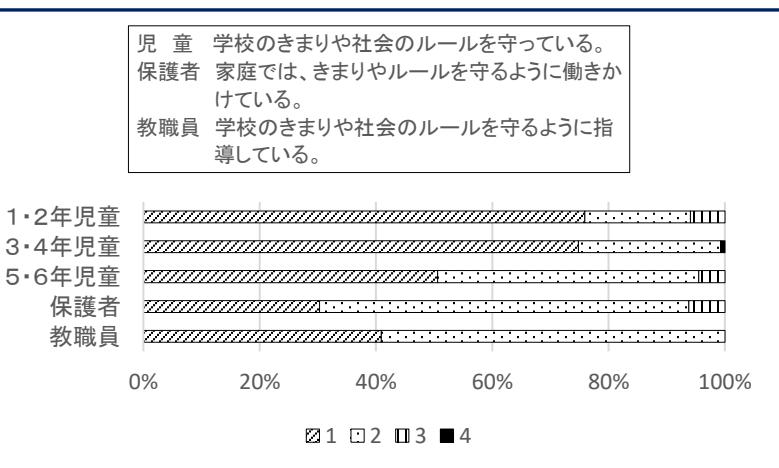
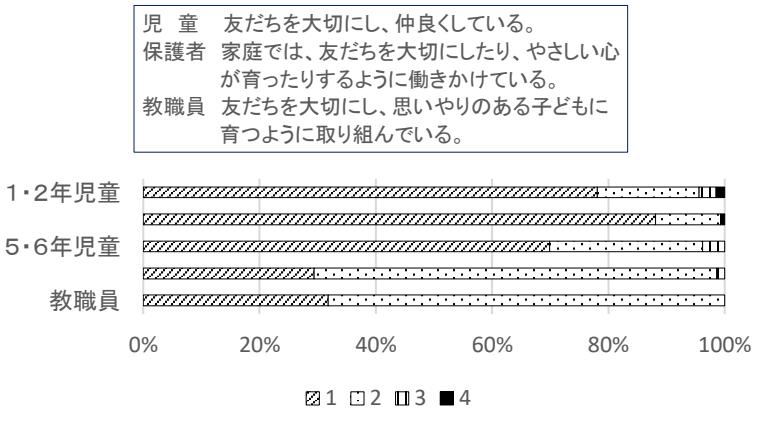


1 2 3 4

#### 【進んで学習する子について】

『学校の勉強がよくわかる』という項目では、児童は「よく分かる」「大体分かる」で90%以上「分かる」と答えています。学習の理解においては、子どもたちが学ぶ楽しさを実感できる授業作りを研究し、今後も基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実を目指した授業改善に努めています。『話をしっかりと聞いたり、自分の考えを話したりしている』では、児童・保護者・教職員を比べると意識の違いがみられました。人の「話を聞く」については、今年度本校がとても大事にしている教育活動の1つです。相手の話をよく聞き、理解することはすべての学校教育活動の土台でもあります。常日頃から学校で話し方や聞き方を学び、また人の話を聞く姿勢については「人を大切にする」という人権的行為であることを忘れず、過ごしたいものです。人の話を目で耳で心で聴き、子どもたちが自分の考えを進んで話せるよう力を引き出していくたいと思います。

#### ＜人（仲間）を大切にする子＞



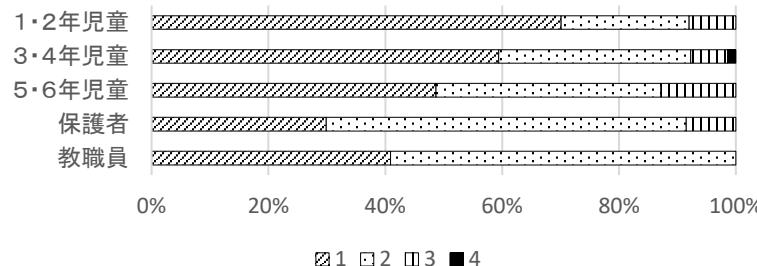
1 2 3 4

#### 【人（仲間）を大切にする子について】

『友だちを大切にし、仲良くしている』という項目では、児童・保護者・教職員共に「よく出来ている」「大体出来ている」が90%以上あり、高い水準でした。子どもたち1人1人自分が大切にされている実感がわく環境作りに努めています。また、授業や人権教育の取組の1つである「ともだちの日」の学習を中心に子どもたちがお互いのよさに気づき、ちがいの魅力に気づけるような取組を進めてまいります。『学校のきまりや社会のルールを守っている』では、児童・教職員は「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせて95%以上ありました。保護者も90%以上肯定的な回答をされていました。子どもたちが、安心・安全な生活を送るためには、きまりやルールを守っていくことが大きなポイントの1つと考えています。ご家庭でも家庭の事情に合った家庭教育で子どもたちの規範意識を高めていただければと思います。

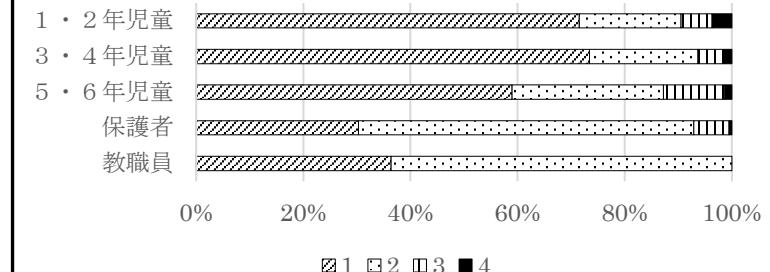
## ＜自分から行動できる子＞

児童 友だちや先生、地域の人に進んであいさつしている。  
保護者 家庭では、子どもが進んであいさつするように働きかけている。  
教職員 子どもが進んであいさつをするように指導している。

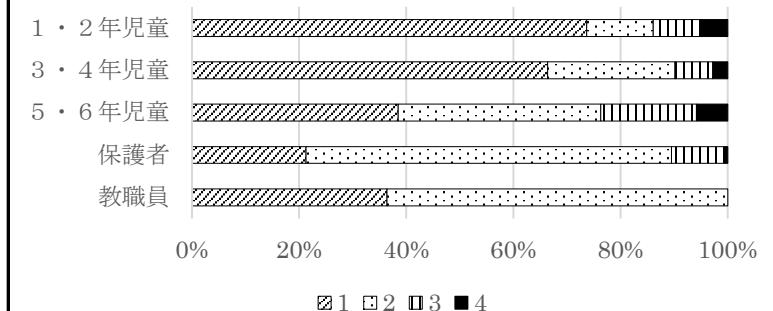


## ＜心も体もたくましい子＞

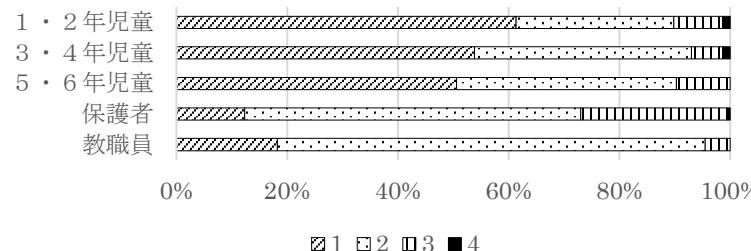
児童 学校に楽しくかようことができている。  
保護者 家庭では、子どもが楽しく学校に通うことができるよう働きかけている。  
教職員 子どもが楽しく学校に通うことができるよう指導している。



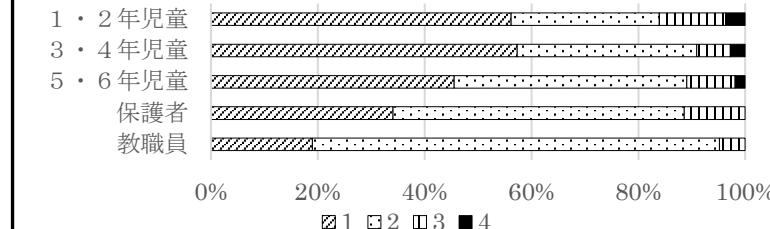
児童 困ったことは、先生や家族に相談している。  
保護者 家庭では、子どもの話を聞いたり、話しやすい雰囲気をつくりたりするようにしている。  
教職員 子どもや保護者の思いを受けとめ、相談にのっている。



児童 話す相手や話す場面に合った話し方ができる。  
保護者 家庭では、話す相手や話す場面に合った話し方ができるよう働きかけている。  
教職員 話す相手や話す場面に合った話し方ができるよう指導している。



児童 早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気をつけて生活している。  
保護者 家庭では、早寝・早起き・朝ごはんなど、基本的な生活習慣を身につけられるようにしている。  
教職員 早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気をつけて生活ができるように取り組んでいる。



### 【自分から行動できる子について】

『あいさつしている』という項目では、児童・保護者・教職員の意識にバラつきがあることが分かりました。今年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点については少しずつ国の方針に変化が見られてきています。それに伴い、マスクをつけていれば声量を増やしてあいさつできるようになってきています。子どもたちは、あいさつする人に自分からあいさつしている様子が見ることが多々あります。教職員が子どもたちにあいさつする姿を見せていくことで自分から「あいさつできる子」が増えていくように取り組んでいきます。『話す場面に合った話し方ができる』という項目では、児童・保護者・教職員を比べるとそれぞれ差がみられました。学校では、授業を通して意図的に子どもたちがコミュニケーションをとる場の設定を工夫します。また、子どもたちの「言葉遣い」については教職員が子どもの模範になれるように努めています。

＜自由記述欄に関しては、保護者の皆様の記述の中から抜粋しました。＞

- ・入学して2年が経ちました。毎日楽しく学校へ行くのを見て、またこの2年で出来なかつたことが沢山できるようになり、学校で友達が優しく接してくれたり先生方が沢山の学びを与えてくれているのが本人を見るとよく分かります。また、用務員さんや保健室の先生、給食の調理員さん等皆さんの話も家でよくしてくれるので、学校で本当にたくさんの方が子供に接してくれているのだなあと思うと感慨深いです。感謝いっぱいです。いつもありがとうございます。
- ・いつも温かいご指導ありがとうございます。お陰様で入学以降、毎日楽しく通っている様子が伝わります。
- ・アンケートに答える仲で、初めてあまり家庭でできていない所に気付くことができるので、よい取組だと思います。
- ・暑い時にクーラーが入らなかったり、毛虫や蚊が多く危険なので対策をしてほしい。
- ・宿題の自主学習が、「強制学習」になっているように感じます。自主学習ノートを埋めるために睡眠時間を削ることもあり、その割には中身のクオリティは問わないのが実態であれば、やるかやらないかは本人の選択、自己責任でいいのでは、と思います。
- ・多様性を尊重した教育、考えが出来るようにして欲しい。

### 【心も体もたくましい子について】

『学校に楽しくかようことができている』という項目では、児童は「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせて80%以上「楽しい」と感じているようです。ワクワクが止まらない魅力あふれる桂東小学校を目指し、子どもたちが主体となって学校を作っていくシステム作りに努めています。『困ったことは先生や家族に相談している』の項目では、各学年によって児童のおもいに差があるようです。大人も子どもに「今日楽しいことあった?」等良いことに目を向けた問い合わせを行ったり、相談しやすく話しやすい雰囲気づくりを心掛けたりしてコミュニケーションを図っていきたいものです。

